

すげがさ

第118号

令和2年9月発行

〒939-0101 富山県高岡市福岡町赤丸1103-1 TEL (0766) 31- 5222 FAX (0766) 31- 5231
ホームページアドレス▶<http://www.aruten.or.jp/> Eメールアドレス▶aruten-akamaru@galaxy.ocn.ne.jp
※ホームページでもご覧いただけます。ご意見をぜひお聞かせ下さい。



7.8 ひだまり



8.13 和い輪い

8.5 ぬくもり



今年は、新型コロナの影響で、毎年恒例のふれあい祭りが中止となりましたが、利用者の皆様に夏のお祭りを楽しんでいただきたいという思いから、各グループにおいて夏祭りを開催しました。

のど自慢や職員の余興、輪投げやくじ引き、射的・魚釣り等々、趣向を凝らした催し物を企画しました。さらにアイスや綿菓子・一銭焼き等の食べ物のブースも用意し利用者の皆様からは「楽しかった！またやって欲しい。」「美味しかった！」等、たくさんの喜びの声が聞かれました。

6.23 朝顔のグリーンカーテン

高岡市の緑化事業の一環として朝顔の苗をいただき、今年もグリーンカーテンを2カ所に設置しました。利用者の皆様にも植え替え作業を手伝っていただきました。皆様、日々の朝顔の成長を楽しみにされながら見守ってられます。



植え替え後



2ヶ月後

7.7 セタ飾りつけ

各グループで利用者様の願いを込めた短冊を、笹に飾りつけをしていただきました。皆様、思い思いの願いごとを書いておられましたが、今年は、新型コロナウイルス関係の願いごとが多かったように思います。我々職員一同も、一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願っています。



クラブ活動

コロナ禍において、クラブ活動等については感染対策を行い少人数で実施しています。

おやつクラブ

今回は、利用者の皆様にもお手伝いしていただき、たこ焼きと一銭焼きを作りました。アツアツの出来たてを、おいしそうに召し上がっておられました。



書道クラブ

書道クラブでは季節に応じたテーマで書道を楽しまれています。「七夕」「天の川」「ほたる」・・・



体操クラブ

密を避け、グループ毎に体操クラブを行っています。機能訓練指導員のもと、あまり動かない関節を動かし筋肉にも刺激を与えると、体も心も気持ちよくなります。



デ イ サ ー ビ ス

畑づくり



今年も畑を耕し、じゃが芋を植えました。ご利用者の皆さんにお世話をいただいたおかげですくすくと育ち、大きなじゃが芋がたくさん収穫できました。そのじゃが芋は、いも餅にして美味しくいただきました。



七夕喫茶

皆さんの願いを込めた短冊が飾り付けられた七夕飾りのもとで、七夕喫茶を開きました。地元福岡のケーキ屋さんのおすすめメニューと飲み物で、自然と顔がほころびます。



花 園

デイサービス正面の花壇に、ご利用者の皆さんと、ゴーヤやひまわり、高岡市の緑化事業としていただいた「宿根アサガオ」を植えました。今ではのびのびと成長し、緑のカーテンとして夏の強い日差しを和らげてくれています。



7/27.31 感染症予防対策出前講座



新型コロナウイルス感染症を想定した富山県高岡厚生センター主催の研修会を受講しました。7月27日と31日の2回、厚生連高岡病院の医師や管内の感染管理認定看護師の講師のもと、新型コロナウイルスに関する質疑応答や防護衣の着脱方法の実技、施設内ラウンド（巡回）による感染予防の具体的な対応方法についてアドバイスをいただきました。

未知のウィルスに対し、施設としてもできる限りの対応をまいります。

6/26.29 高齢者権利擁護研修



高齢者の虐待防止及び身体拘束に対する理解を深めるため、施設内研修を開催しました。

ご長寿の紹介コーナー



小西敏枝様

大正11年3月1日生まれ 98歳

福岡町小野に生まれ、若い頃から農業をしながら子育てをされました。普段は物静かな方ですが、歌うことが大好きで、どんな歌もとてもお上手です。また、日々の体操クラブ等にも積極的に参加され、お元気に過ごされています。

● オンライン面会のご案内 ●

新型コロナ対策のため、ご家族等の面会を中止しています。LINE電話を活用したオンラインでのご面会は実施しておりますので、是非ご活用ください。

なお、面会は事前予約制です。予約状況によっては、ご希望の日時にお受けできない場合もございます。予めご了承ください。

予約受付時間 平日 9:00～17:00

面会実施時間 平日 10:00～11:30
14:00～16:00

※ お1人様10分以内でお願い致します。



[寄贈品]

新型コロナ感染対策に関する物品を下記の方々より寄贈していただきました。

中島利子様のご家族様	サージカルマスク
坪崎なり様のご家族様	サージカルマスク
菅っこメイト様・福岡地区婦人会様	スゲマスク
アビリティーズ・ケアネット株式会社様	サージカルマスク
サクラボックス(株)様	段ボール製仕切り
(株)フジタ様	簡易フェイスシールド
(株)池田模範堂様	ハンドクリーム

[関係団体からの支給]

全国老人福祉施設協議会	サージカルマスク
富山県老人福祉施設協議会	サージカルマスク
県社会福祉協議会(県ライオンズクラブ)	サージカルマスク

皆様からのご厚意ありがとうございました。
有効に使わせていただきます。

編集後記



「感染予防に関しては100-1=0という意識で取り組んでいる」。これはある大学病院のドクターの言葉です。100人の職員が働く病院内で、たった1人の職員が感染予防対応をいい加減に行っていたら、病院全体としての努力の意味がなくなってしまうという意味だそうです。

新型コロナ対策については、施設でも様々な取り組みやマニュアル作り等を行っています。高齢者施設という特性上、特に気を付けなければなりません。しかしながら、「呉牛喘月*」という言葉があるように、必要以上に恐れてしまったりは、利用者様、ご家族様、職員に過度の負担がかかってしまいます。富山県議会議員で現役の医師でもある、種部恭子先生が言われるように「正しく知って、正しく恐れる」ことが大切だと感じています。

*【呉牛喘月】ごぎゅう-ぜんげつ

訓読みは、「呉牛(ごぎゅう)、月(つき)に喘(あえ)ぐ」。暑い呉の地方の牛は月を見ても暑い太陽だと思い、喘ぐ意から、過度におびえ恐れることのたとえ。